
【業種別】

勤怠システムの選び方

—  成功のためのチェックリスト —

勤怠管理には
登場人物が
たくさんいます。

決めるのは、経営層や労務担当者か
もしれませんが、

実際に使うのは、現場の従業員、
また管理職としての承認なども。

従業員、
管理職、
人事労務担当者
がいます

“打刻”だけではなく、

従業員は 『申請』
現場での 『打刻』・『申請』
管理職は 『承認』

それぞれには
“使い方を覚える”という任務が。

人事労務担当者は『教える』、
『集計する』、『設定する』
のあたらしい仕事が発生します。

だからこそちゃんと
勤怠システムを選ぼう

現場の状況 + 集計の手間

を見極めよう！

しかも
『勤怠』にはそれぞれ
特徴がある

業種ごとに勤怠（働き方）
には特性があります。
何も考えずに選ぶと
かえって大変な思いをします。

例えば、業種区分

IT、製造、飲食、医療、小売、建設でみてみましょう



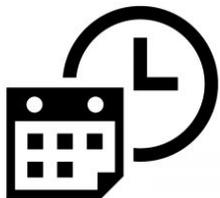
打刻しやすさ



申請の複雑さ



雇用区分の多さ



勤務の複雑さ



集計の難易度



拠点数

業種の特徴

製造

- 現場の打刻環境の確認
- 現場の申請環境の確認
(端末が不足する問題、高齢者が多い等)
- 細かくしっかり見る従業員さんが多く、
システムの改修要望が出やすい
- 全国に営業所がある場合の対応検討

業種の特徴

飲食

- そもそもシフトが組めていますか
- それは勤怠システムへ移行できますか
- 時間帯や曜日によって時給が違う場合、別途集計が必要ですよね
- 休憩時間、出入りなど複数回打刻への対応
- 他店舗への応援対応
- 有給などの申請のしかた、
- 承認をする店長は使いこなせますか

業種の特徴

医療

介護

- 夜勤に対応していますか
- 夜勤などの回数(日数)を
カウントできますか
- 早く休憩に入ったり、あがったりする
場合の処理ができますか
- 多くの職種の方の働き方に対応できますか
- 業務内容によって時給が変わる場合に
分けられますか

業種の特徴

小売

- シフトをきちんと組んでいますか
- 有給などの申請はどうしますか
- 打刻ができる環境がありますか
- 入社・退社が多いと打刻方法は確立されていますか
- 他店舗への応援対応

業種の特徴

IT

- 自由度が高すぎて働き方に自動処理ができなくなっていないですか
- 振替休日や有給休暇の制度が複雑すぎませんか
- 本当にこのサービスで解決できますか？
- 裁量労働制の運用はそもそも正しいですか

業種の特徴

建設

- 現場で打刻する場合、打刻環境がありますか
- 直行直帰の場合の処理ができますか
- きちんと残業代の支払いができていますか
- 工数管理が必要でしょうか

さらに、
ネットとなりやすいのは
"振替"や"労使慣行"

課題となりやすい“振替”や“労使慣行”

- ✓ 業種ごとの特徴は、サービスの選び方である程度クリアできる。
- ✓ たとえば、自社で慣例的にやっている次のような制度はありませんか？
 - ・遅刻1時間まではセーフ
 - ・振替休日が時間単位で取れる など
- ✓ 上記が『どうしても』ではない場合、システムに合わせた方がよいです。

課題となりやすい“振替”や“労使慣行” の解決ポイント

- 1 現在の就業ルールを整備して、対応可能にする。
- 2 ルール通りに運用できるように準備・設定をする。

(集計、申請項目、休暇のマスタ、従業員の登録、利用方法説明会)

※オフィシャル以外の解決方法があるケースがあります。

- 3 テスト運用を実施してあらかじめ問題点を洗い出す。

弊社がサポート いたします。

現在、貴社が抱えておられる課題やご懸念事項解消
するために、“無料オンライン相談会”をご案内させてい
ただきたく存じます。

■■■無料オンライン相談会お申込み先■■■

<https://teco-design.jp/blog/onlineconsultation/>

■■■お役立ち情報■■■

<https://teco-design.jp/blog/request/>

貴社のさらなるご発展に向けて、
TECO Design のサービスをぜひご利用ください。